



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月20日

上場取引所 東

上場会社名 アルインコ株式会社

コード番号 5933

URL <http://www.alinco.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小山 勝弘

問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)小林 宣夫 (TEL)06-7636-2222

四半期報告書提出予定日 平成30年8月3日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年3月21日～平成30年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	12,801	7.6	719	11.3	806	8.0	457	2.4
30年3月期第1四半期	11,901	12.8	646	15.6	746	158.6	446	97.5

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 467百万円(43.1%) 30年3月期第1四半期 326百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
31年3月期第1四半期	22	31	—	—
30年3月期第1四半期	21	78	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	54,410	26,311	47.1	1,248 90
30年3月期	51,095	26,248	50.1	1,247 02

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 25,615百万円 30年3月期 25,577百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	18 00	—	19 00	37 00
31年3月期	—				
31年3月期(予想)		18 00	—	19 00	37 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年3月21日～平成31年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,700	9.4	1,540	6.5	1,640	△5.6	910	△11.2	44 37
通期	53,200	6.2	3,050	12.2	3,200	3.6	1,800	7.1	87 76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	21,039,326株	30年3月期	21,039,326株
31年3月期1Q	528,480株	30年3月期	528,480株
31年3月期1Q	20,510,846株	30年3月期1Q	20,510,846株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、保護貿易的な風潮の広がりが好調な世界経済のかく乱要因として意識されるなど、先行き不透明な状況が続いています。

当社グループの主な関連業界である建設及び住宅関連業界におきましては、引き続き堅調な民間設備投資や首都圏での大型建築工事や東京オリンピック・パラリンピックに向けた建設需要等により、受注環境は堅調に推移しています。

このような状況のなか、売上高は前年同期比7.6%増の128億1百万円となりました。利益面では、売上高の増加によって、営業利益は前年同期比11.3%増の7億19百万円、経常利益は前年同期比8.0%増の8億6百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比2.4%増の4億57百万円となりました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

セグメントの名称	売上高		セグメント利益又は損失(△)	
	金額(百万円)	前年同期比(%)	金額(百万円)	前年同期比(%)
建設機材関連事業	4,433	4.8	520	11.8
レンタル関連事業	4,292	16.7	128	195.0
住宅機器関連事業	3,228	7.4	102	△48.6
電子機器関連事業	847	△14.2	△11	—
報告セグメント計	12,801	7.6	738	△2.0
調整額	—	—	67	—
四半期連結損益計算書計上額	12,801	7.6	806	8.0

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない為替差損益や支払利息などの営業外収益及び営業外費用であります。

建設機材関連事業

当事業の売上高は、前年同期比4.8%増の44億33百万円となりました。前期から連結子会社となった双福鋼器株式会社において物流関連設備の販売が好調に推移しました。建設用仮設機材の販売は人手不足などによる建設現場数の伸び悩みなどの影響を受けて需給が一時的に緩みましたが、第2四半期以降に向けた豊富な受注を確保しております。なお、新型足場「アルバトロス」はレンタル部門と連携した販売戦略により好調を維持しております。

損益面では、売上高の増加によってセグメント利益は前年同期比11.8%増の5億20百万円となりました。

レンタル関連事業

当事業の売上高は、前年同期比16.7%増の42億92百万円となりました。低層用向けレンタルの売上が住宅投資減少の影響を受け伸び悩みましたが、中高層用レンタルやイベント向けのレンタル売上が好調に推移しました。

損益面では、積極的なレンタル資産への投資の継続によって減価償却費は増加しましたが、売上高の増加によってセグメント利益は前年同期比195.0%増の1億28百万円となりました。

住宅機器関連事業

当事業の売上高は、前年同期比7.4%増の32億28百万円となりました。アルミ製品の販売は、好調な企業収益を背景に設備投資意欲の高まりから建材金物ルートや機械工具ルート向けで増加しました。またフィットネス機器は、通販ルート向け販売企画が好調に推移して売上高が増加しました。

損益面では、前年同期に比べて為替差益が減少したことなどから、セグメント利益は前年同期比48.6%減の1億2百万円となりました。

電子機器関連事業

当事業の売上高は、前年同期比14.2%減の8億47百万円となりました。特定小電力無線機や業務用無線機の販売は期初から好調に推移したものの、防災行政無線の納入時期が下半期以降になりました。

損益面では、防災行政無線の売上減少による利益率の低下を補いきれず、セグメント損失が11百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は544億10百万円となり、前期末に比べ33億15百万円増加しました。総資産の内訳は、流動資産が330億7百万円（前期末比34億19百万円増）、固定資産が214億2百万円（前期末比1億3百万円減）であります。総資産の主な増加要因は、現金及び預金の増加（前期末比20億1百万円増）、売掛金やたな卸資産の増加（前期末比17億21百万円増）であります。

負債は、280億99百万円となり、前期末に比べ32億52百万円増加しました。その内訳は、流動負債が162億49百万円（前期末比6億52百万円減）、固定負債が118億50百万円（前期末比39億5百万円増）であります。負債の主な増加要因は、借入金の増加（前期末比31億8百万円増）であります。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益が4億57百万円となったことや、剰余金の配当を3億89百万円実施したことなどにより、263億11百万円（前期末比62百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成30年5月2日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,000,422	7,001,826
受取手形及び売掛金	14,069,998	14,683,556
商品及び製品	6,534,479	7,174,998
仕掛品	964,667	1,050,991
原材料	2,003,287	2,005,268
繰延税金資産	378,379	439,021
その他	654,671	679,151
貸倒引当金	△17,268	△27,032
流動資産合計	29,588,636	33,007,782
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産	23,649,232	23,611,323
減価償却累計額	△18,927,170	△18,945,964
減損損失累計額	△114,979	△112,366
レンタル資産(純額)	4,607,082	4,552,991
建物及び構築物	10,634,480	10,617,710
減価償却累計額	△6,489,579	△6,560,552
建物及び構築物(純額)	4,144,900	4,057,158
機械装置及び運搬具	4,544,938	4,524,977
減価償却累計額	△3,251,073	△3,293,468
機械装置及び運搬具(純額)	1,293,864	1,231,508
土地	3,988,153	3,947,022
その他	3,248,984	3,289,162
減価償却累計額	△2,923,400	△2,955,241
減損損失累計額	△29,366	△29,366
その他(純額)	296,217	304,554
有形固定資産合計	14,330,218	14,093,236
無形固定資産		
のれん	794,918	757,774
その他	196,461	193,315
無形固定資産合計	991,380	951,089
投資その他の資産		
投資有価証券	2,428,818	2,400,780
長期貸付金	674,347	876,206
退職給付に係る資産	2,090,923	2,103,031
繰延税金資産	13,573	13,871
その他	981,340	967,665
貸倒引当金	△4,177	△3,050
投資その他の資産合計	6,184,824	6,358,505
固定資産合計	21,506,423	21,402,831
資産合計	51,095,060	54,410,613

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,132,362	8,102,426
短期借入金	6,085,953	5,270,073
未払法人税等	673,732	434,100
賞与引当金	669,847	373,802
その他	1,340,012	2,068,723
流動負債合計	16,901,907	16,249,126
固定負債		
長期借入金	6,128,384	10,052,970
退職給付に係る負債	184,588	187,614
役員退職慰労引当金	198,682	186,336
関係会社事業損失引当金	137,210	137,210
繰延税金負債	873,581	865,934
その他	422,369	420,346
固定負債合計	7,944,816	11,850,412
負債合計	24,846,724	28,099,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,361,596	6,361,596
資本剰余金	4,812,424	4,812,424
利益剰余金	13,583,474	13,640,594
自己株式	△172,128	△172,128
株主資本合計	24,585,367	24,642,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	513,987	491,368
繰延ヘッジ損益	△101,806	36,095
為替換算調整勘定	423,665	307,175
退職給付に係る調整累計額	156,220	138,794
その他の包括利益累計額合計	992,067	973,434
非支配株主持分	670,900	695,151
純資産合計	26,248,336	26,311,074
負債純資産合計	51,095,060	54,410,613

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月21日 至平成29年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月21日 至平成30年6月20日)
売上高	11,901,086	12,801,448
売上原価	8,541,427	9,224,379
売上総利益	3,359,658	3,577,069
販売費及び一般管理費	2,713,110	2,857,299
営業利益	646,548	719,769
営業外収益		
受取利息	9,377	5,889
受取配当金	24,125	27,366
受取地代家賃	14,750	15,180
為替差益	23,977	3,119
作業屑等売却益	43,617	31,415
その他	10,482	36,478
営業外収益合計	126,331	119,449
営業外費用		
支払利息	11,113	14,781
支払地代家賃	6,115	6,115
持分法による投資損失	1,392	7,389
その他	7,676	4,856
営業外費用合計	26,297	33,143
経常利益	746,582	806,075
特別利益		
有形固定資産売却益	343	1,217
特別利益合計	343	1,217
特別損失		
有形固定資産除売却損	3,946	243
災害による損失	-	17,290
特別損失合計	3,946	17,534
税金等調整前四半期純利益	742,979	789,758
法人税、住民税及び事業税	354,759	419,655
法人税等調整額	△57,359	△113,994
法人税等合計	297,400	305,661
四半期純利益	445,578	484,097
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,176	26,450
親会社株主に帰属する四半期純利益	446,754	457,646

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月21日 至平成29年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月21日 至平成30年6月20日)
四半期純利益	445,578	484,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,430	△22,619
繰延ヘッジ損益	△34,620	137,902
為替換算調整勘定	△66,375	△115,168
退職給付に係る調整額	△21,154	△17,426
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,431	439
その他の包括利益合計	△119,152	△16,871
四半期包括利益	326,426	467,225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	328,810	439,013
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,384	28,212

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年3月21日 至 平成29年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設機材 関連事業	レンタル 関連事業	住宅機器 関連事業	電子機器 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,228,974	3,678,467	3,005,777	987,867	11,901,086	—	11,901,086
セグメント間の内部売上高 又は振替高	671,114	143	47,317	8,088	726,663	△726,663	—
計	4,900,088	3,678,610	3,053,094	995,955	12,627,749	△726,663	11,901,086
セグメント利益	465,289	43,416	198,733	45,960	753,399	△6,817	746,582

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額△6,817千円は全社損益であります。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない為替差損益や支払利息などの営業外収益及び営業外費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

建設機材関連事業セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間に、双福鋼器株式会社の株式を取得し、連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は当第1四半期連結累計期間において723,762千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年3月21日 至 平成30年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設機材 関連事業	レンタル 関連事業	住宅機器 関連事業	電子機器 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,433,740	4,292,410	3,228,055	847,242	12,801,448	—	12,801,448
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,029,044	4,045	56,437	7,779	1,097,307	△1,097,307	—
計	5,462,785	4,296,456	3,284,493	855,021	13,898,756	△1,097,307	12,801,448
セグメント利益又は損失(△)	520,215	128,070	102,082	△11,983	738,384	67,691	806,075

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額67,691千円は全社損益であります。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない為替差損益や支払利息などの営業外収益及び営業外費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。